東京市大森山王　徳富猪一郎先生　侍史　／京城府孝子町一七五　香山光郎

蘇峰大先生

只今、ラジオを通して、先生の力強いお言葉を戴きました。先生が永いこと英米撃滅を叫ばれたのが實を結びました。力を以て英米叩き附け、慈を以て十億民衆を綏撫することは、必ず成ることゝ信じます。光郎も及ばずながら先生の後に附いて全力を盡します。光郎は半島に於ける天皇中心主義者とご承知願ひます。婦人と青年とに呼びかけまして戦時報國の誠を致さんために微力を盡して居ります。ラジオで慕はしいお聲に接した感激をそのまゝ、机上の原稿紙に記して差上げます。東亜のため

御健康をお祈申上げます。

昭和十七年一月二日　門生　香山光郎　再拜